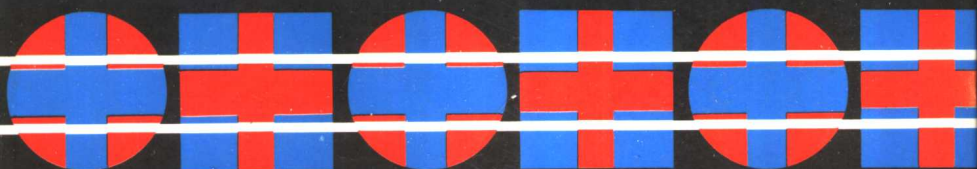


昭文

漢字用語字典

文學博士 藤堂明保 監修



語文叢書24
水牛出版社

語文叢書 24

昭文 漢字用語字典

藤堂明保 監修
平井充良 主編

永年田版社

昭文漢字用語字典

語文叢書 24

監修者：藤 堂 明 保
主編者：平 井 充 良
發行人：彭 誠 晃

出版者：水牛圖書出版事業有限公司

地址：台北市金山南路一段 135 號 2 樓

電話：3 4 1 0 2 7 5 • 3 2 1 5 6 4 4

郵政劃撥 0 0 1 3 9 3 2 - 1 號

初 版：中華民國 77 年 5 月 31 日

登記證

局版台字第 0628 號

◀版權所有・不許翻印▶

*はじめに

放送では、シンスイカオク（浸水家屋）を「水につかった家」と言いかえている。耳で聞きとるには、たしかにそのほうがよい。ところが手紙や文章を書くときには、事情が違ってくる。

「はなしをきくほどに、むねがつまり、めがしらがあつくってきた。」というかな書きの文章は、しまりがなくて読みづらい。中に漢字をはさむと、表記がぐっとひきしまるのである。「話を聞くほどに、胸が詰まり、目頭が熱くってきた。」たんに二十八字が二十四字に減っただけではなく、おもな単語が浮き出て全体がとらえやすくなる。ただこのさい、つまる↓詰まる、めがしら↓目頭と書きかえたいと思っても、度忘れて漢字が思い出せないことがある。手もとに簡便な用語字典があつてほしい。右の例は、すべて、和語から成っているから、めがしら↓目がしら、でとどめて、「目頭」とまでは書かなくてもよい。しかし私たち日本人は、時にはいささか学のあるところを見せたくなくて、「フリン（不倫）の恋」「ナラク（奈落）の底」「ヒジヨウ（非情）の雨」などと言ひ表したいと思うことがあるが、急には漢字が念頭に浮かんでこない。焦ったあまりに「非常の雨」と書いてこまかそうものなら、優勝をかけた試合が中止されたうらめしさが、どこかへふっとんでしまう。こんな時にも手もとに簡便な用語字典を置いておきたいと思うのである。

私はべつに使う漢字をふやすように、と主張するのではない。たとえば警察が立てた看板に「事故多発箇所」とあるのは、「こゝ事故多し」とかなをまじえて書いたほうが、はるかに目にとまりやすい。しかし、もともと漢語であつて日本語に取り入れられたことは、かなで書くと、どうも読みづらい。漢語ことばを使うからには、漢字で正しく書き表せるように努力すべきである。就職のさいに「書取り」を課するところが多いのは、そのためである。セイジندانシ（成人男子）を「生人男子」と書くような珍答案（男がどうして人を生めようか）が跡をたたないのは、困ったことである。誤字や当て字は、社会のコミュニケーションを破壊する。これから世に出る若い人にも、正しい表記に習熟してもらいたい。そのためには、簡便な用語字典を座右に置く必要があるだろう。

この字典は、日常の読み書きに使われる漢字の使い方を示した実用の書である。やや多めに例を収録してあるので、使用される皆さんのがわで誤解されるおそれがないと判断されたときは、かな書きですまされてもかまわない。常用漢字をはみ出るような漢語は、他のことばに変えることもけっこうである。明治・大正の作家のように、きつと（屹度）・なるべく（可成）・いまさら（今更）のような、よけいな漢字の乱用をくり返してはなるまい。そのあたりの取捨は大衆の常識にまかせるのが本筋であろう。たとえば、たん（単）に、とく（特）に：のような漢語副詞は、かな書きがよいが、ひじょう（非常）に、かくべつ（格別）に：のような長い例は、むしろ漢字で書き表したほうがわかりやすいだろう。

ちなみにこの字典は、読み書きの参考にする実用の書であるから、国語的な機能に重点をおき、漢字の「親字」の語源的な意味や古典的な使い方にはふれていない。

* 本字典の特色と凡例

日常普通の生活で使われる語は二万語余りで、これらの語を集めた簡易な字典類はかなり出ています。が、その多くは解説が簡単すぎて、一字・一語でも重要な意味や使い方がいくつあるものでも、それが出ていません。用例も少なく、調べた漢字がどんな使われ方をしているのか、正しく判断できません。類似の字や語の使い分けにも迷います。分厚い辞書を使えば詳しく出てはいるわけですが、普段使わない字や語がびっしりとひしめいていて、めざす字や語を引くのにも手間がかかりますし、携帯にも向きません。忙しい仕事の最中や旅先で使う時にはハンディーで手軽に利用でき、引いた字や語の意味、使い方が的確につかめる——このような機能が必要で、その願いをこの一冊に結晶させてみました。見出し語の数は約二万語ですが、漢字母（語をつくっているものと）や日本語の基礎になっているような語は、意味と使い方（用例）を詳しくしてありますから、中味の濃さは三万語以上の字典に負けないくらいです。きつと日常の言語生活の好伴侶にしたいだけのことと信じます。

- 1 普通の日常生活で使用度の高い語（漢字母・慣用句などを含む）を主に選び、現代かなづかいで五十音順に配列した。音訓と送りがなは、「常用漢字表（昭和五十六年三月）」を基準とした。
- 2 漢字母は、常用漢字一九四五字の全部を収録し、常用漢字表のすべての音訓（音はかたかなで、訓はひらがなで）を示した。なお、字体が旧字といちじるしく異なるものは、その旧字を、（ ）の中に示した。また、
「→」, 「サ→」, 「→」, 「サ→」などの表示は一部略した。
- 3 常用漢字表外の字も、雑誌等で使用度の高いもの、他の字との比較上（同音異字などで）必要と思われるものは見出し語に収録した。表外の字を含む語、表にない音訓を含む語も同様である。
- 4 外来語・外国語は原則として取り上げなかったが、すでに日本語化されているもの（「更紗」^{ササ}「煙草」^{タバコ}）は、当て字の部類として収録した。「磅」「法」なども同様である。

＜記号＞

- ＜常用漢字表外の字、またはその字を含む語。＞
- ＜従来の当用漢字以外の字で、新たに常用漢字となった字、またはその字を含む語。＞
- ＜当て字・熟字訓（表中・表外字に関係なく）。またはそれを含む語句。＞
- ＜同意語・同類語。＞
- ＜反対語・対照語。＞
- ＜参考・注意。読み・表記に関するものが多い。＞
- ＜語例・文例。＞
- ＜語例・文例中の見出し語。但し活用形はその形で示した。＞

あがな
贖う✓

①金品で罪を免れる。
つくまつ。☆罪を―。

②

事な言ひ方。☆召し・挨拶に。

商い

① 売り買いすること。商売。
② 売上高。☆が多い。

悪意あくい
①わるい感情。悪ふ。☆
②わるい意見。

悪性 ①心や性がいよくないこと。
また、身持ちがわるいこと。
②性質がわるいこと。

欠伸》して、自然に口が開いて
行われる深呼吸。☆をかみ殺す。

①取りのぞく。ひらく。

☆一は三文(さんもん)の得、②朝起きた時のきげん。☆

の失敗を、
①体を支え、歩く練習

足^{あし} ①歩くこと。②進むこと。③走る。④助かる。⑤歩く。⑥歩く。⑦歩く。⑧歩く。⑨歩く。⑩歩く。⑪歩く。⑫歩く。⑬歩く。⑭歩く。⑮歩く。⑯歩く。⑰歩く。⑱歩く。⑲歩く。⑳歩く。㉑歩く。㉒歩く。㉓歩く。㉔歩く。㉕歩く。㉖歩く。㉗歩く。㉘歩く。㉙歩く。㉚歩く。㉛歩く。㉜歩く。㉝歩く。㉞歩く。㉟歩く。㊱歩く。㊲歩く。㊳歩く。㊴歩く。㊵歩く。㊶歩く。㊷歩く。㊸歩く。㊹歩く。㊺歩く。

足^{あし} ①止める。②止める。③止める。④止める。⑤止める。⑥止める。⑦止める。⑧止める。⑨止める。⑩止める。⑪止める。⑫止める。⑬止める。⑭止める。⑮止める。⑯止める。⑰止める。⑱止める。⑲止める。⑳止める。㉑止める。㉒止める。㉓止める。㉔止める。㉕止める。㉖止める。㉗止める。㉘止める。㉙止める。㉚止める。㉛止める。㉜止める。㉝止める。㉞止める。㉟止める。㊱止める。㊲止める。㊳止める。㊴止める。㊵止める。㊶止める。㊷止める。㊸止める。㊹止める。㊺止める。

東^{あづま} ①東。②東。③東。④東。⑤東。⑥東。⑦東。⑧東。⑨東。⑩東。⑪東。⑫東。⑬東。⑭東。⑮東。⑯東。⑰東。⑱東。⑲東。⑳東。㉑東。㉒東。㉓東。㉔東。㉕東。㉖東。㉗東。㉘東。㉙東。㉚東。㉛東。㉜東。㉝東。㉞東。㉟東。㊱東。㊲東。㊳東。㊴東。㊵東。㊶東。㊷東。㊸東。㊹東。㊺東。

頭^{あたま} ①頭。②頭。③頭。④頭。⑤頭。⑥頭。⑦頭。⑧頭。⑨頭。⑩頭。⑪頭。⑫頭。⑬頭。⑭頭。⑮頭。⑯頭。⑰頭。⑱頭。⑲頭。⑳頭。㉑頭。㉒頭。㉓頭。㉔頭。㉕頭。㉖頭。㉗頭。㉘頭。㉙頭。㉚頭。㉛頭。㉜頭。㉝頭。㉞頭。㉟頭。㊱頭。㊲頭。㊳頭。㊴頭。㊵頭。㊶頭。㊷頭。㊸頭。㊹頭。㊺頭。

頭^{あたま} ①頭。②頭。③頭。④頭。⑤頭。⑥頭。⑦頭。⑧頭。⑨頭。⑩頭。⑪頭。⑫頭。⑬頭。⑭頭。⑮頭。⑯頭。⑰頭。⑱頭。⑲頭。⑳頭。㉑頭。㉒頭。㉓頭。㉔頭。㉕頭。㉖頭。㉗頭。㉘頭。㉙頭。㉚頭。㉛頭。㉜頭。㉝頭。㉞頭。㉟頭。㊱頭。㊲頭。㊳頭。㊴頭。㊵頭。㊶頭。㊷頭。㊸頭。㊹頭。㊺頭。

7

後戻りへ ①引き返ること。☆出る
 見点まで。②退却。
 穴 ①くぼみ。②裂所。☆チー
 ムのし。③損失。☆が開
 く。④けもの住むほら。⑤
 人に知られていない所。☆一
 ⑥番くわのせの勝負。☆大
 孔 突きぬけな。☆鼻のし
 穴埋め ①くぼみをうめて平ら
 にすること。②損失を
 おきなおす。☆借金。
 穴蔵 物を貯蔵しておく地中のあ
 な。☆にしよう。
 侮る 相手を軽みする。ばかにす
 る。みくびる。
 兄 ①きょうだいで、年上の男
 ②弟。③妻大の兄姉の夫
 兄弟子 同門の先輩。④弟弟。
 兄嫁 ①兄の妻。☆との
 ②折りかへて悪い。
 姉 ①きょうだいで、年上の女
 ②妹。③妻大の姉。兄の妻
 亜熱帯 熱帯と温帯との間の気
 候帯。☆一性候り。
 暴く・発く ①掘って取り出
 す。☆暴る。
 ②人の秘密をさぐって発表する。
 ☆悪事を。不正を。
 痘痕 天然痘がなかつたあと、
 ①うき。②くぼみ。
 肋骨 ①胸を形づくる骨。うっこ
 つ。☆やせてーが出る。
 あばら(家屋) ①あれ果
 てた家。
 ☆に住む。②自分の事をへりく
 だつていう。☆ですが、どうせ

溢れる
①余ってこぼれる。
☆水が。②こぼれ
るほどいっぱい。☆希望に。

ないで数が残る。③限度をこえて

雨模様
雨のふり出しそつな空
の様子。あまもよう。

粗い ①こまかくない。→細(こま)かい。☆細み目かい。

を。②事を面例にする。☆事を。

暗涙
にむせぶ。

☆胃液・胃酸・胃弱・胃病。

緯

言い伝え
①伝説 ②伝説
☆昔からの！

家出

①家を出て帰らないこと。
②僧になること。出家。

鑄造型
鑄物を作る型。☆ーにはめ

調子。☆ーが合う。③影響。支配。

①事のなりゆき。☆事件の。②こみいった事柄。

①生命を保つ。②生活する。☆舞子。③及

畏敬（おそれうやまつこと。尊敬。女門の字を因く。専

異国 いこく ☆「集」の「異」
よその国。外国。他国。☆

① 岩石のかげら。砂より大

金具②のこの根もと。
意也つ(張り) 強情を張るこ

①他とちがった色。②他と

の責任者。☆の手腕。

父のーに對面する。

☆魚がー・肉がー。
べ物がくさる。

または海。☆の間にある。

一途
し又すら　したもき　☆
に思い込む・―に勢力する。

役。☆加わる。④田の二区画。

一 抹へ ①ひとすなり。②ほんのわずか。☆ひの不安

市松 ①市松模様 黒白または明暗色の四角形たがいがに並べた模様。②市松人形

一味 ①一品の副食物。②仲間。☆盗賊の

一脈 ひとつのつながりがあること。☆相通する

一面 ①ある面。一方。☆から見る。②全面。☆の大海

一面識 ①新聞の第一ページ。一度会って少しく知って

一網打尽 ひとつの網で魚を捕らえること。一度会って少しく知って

一目 ①ひとつ。②一度だけ見る。③個の異有

一物 ①ひとつの。②例のもの。男婦。③たぐひ

一文字 ①ひとつの文字。②横かけ地の上下にける細い布

一躍 ①ひととび。②飛躍すること。☆有名になる

意中 心のうち。心中と思つて

一様 ①全部が同じさま。同様。②普通。☆尋常のこと

一陽来復 運が衰へたあとに好運がくること。☆のきざしが見える

一翼 ①ひとつのつばさ。②ひとつの持ち場。☆を担う

一覽 ①ひとと通り。ざっと、目を通すこと。②内容を見やすくまとめた本。または表

一理 ひと通りのすじみち。ひとつのりくつ。☆がある

一律 ①同じ調子。②平均なこと。一様。☆へに支給する

一里塚へ 昔、街道に里(約四キロ)ごとに作った塚

一流 ①第一等の地位。☆の学者。②一つの流派。③独特のやり方。☆傑出した

一輪 ①ひとつの花。②ひとつの車輪。③ある月

一縷 ①一本の細い糸。②わずかな。☆の望み

一蓮托生 ①前後世で同じ蓮の上になつて生まれ合ふこと。②運命を共にすること

逸(逸) ①それて逃げる。後逸散逸。②世に知られていない。☆逸話。③くれて。☆逸材。逸品。逸興。④気まぎれにする。楽しむ。☆逸楽。安楽放逸

一家 ①一軒の家。②一家族。③仲間。④流派。☆を成す

一介 ①ひとりの。②たゞの。☆の勤め人に過ぎない

一塊 ひとかたまり。☆の土。①の肉

一攫千金 ①一攫(いっけん)金。②一攫(いっけん)金。一時に大きな利益を得ること

一括 ひとまとめにすること。ひとつく。☆一括。大断でしかりつけること

一喝 ☆を食らう

一貫 ①ひとすにつらぬくこと。☆終始。②貫の単位。約三七七グラム。③貫の貨幣の単位

一環 ①さりの一つの輪。②全体に關係する一節

一揆 昔、農民や僧侶が集団で行った圧迫者への反抗。場合が度々あること

一喜一憂 ①喜(よろこ)ぶ。②憂(うれ)しむ。物事をひととき

一気呵成 ①一気(いっけ)に。②一気(いっけ)に。物事をひととき

一騎当千 ①一人千人を相手に戦えるほどの力があること。☆の勇士

一挙一動 ①一挙(いっく)一動(いっどう)。②一挙(いっく)一動(いっどう)。一挙(いっく)一動(いっどう)

一挙兩得 ①一挙(いっく)一動(いっどう)。②一挙(いっく)一動(いっどう)

居着く ①住みつく。②来て。そのまゝいる。大切にす

慈しむ ①住みつく。②来て。そのまゝいる。大切にす

一計 ひとつのはかりごと。一計(いっけい)を案じる

一件 ①ひとりの事件。ひとつの事件。☆を案じる

一見 ①一度見る。②一度会うこと。③一度と見ること

一顧 ①ひとりの。②一度と見ること。☆の顔を見ること

一行 ①ひとと並び。②同行。③ひとと並び。④同行

一考 ①ひとと並び。②同行。③ひとと並び。④同行

一刻 ①昔の時間。②一時の四分。③今の約十分。☆千金。④わずかな時間。☆を奪う

一献 ①一杯の酒。②酒をふるまうこと。☆差上げる

一切 ①すべて。☆変身。②ま。③すべて。☆知らぬ

一再 ①一度。②一回。☆ならすたびたび

逸材 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一酸化炭素 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一矢 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一視同仁 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一瀉千里 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一周 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一蹴 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一瞬 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一生 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一笑 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一触即発 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一身 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一新 ①一人の。②一人の。木皮や油な

一睡 ひとねむり。少しねむること。☆もすに待つ

逸する ①逃げる。②逃げる。③逃げる。④逃げる

一世 ①一生一代。②一世。③一世。④一世

一齊へ ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一世一代 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一石二鳥 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一層 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一掃 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一足飛び ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一体 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一帯 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一帯 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一帯 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一帯 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一帯 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一帯 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に

一帯 ①一齊(いっせい)に。②一齊(いっせい)に。③一齊(いっせい)に。④一齊(いっせい)に